

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 4 月 1 日

事務事業名		埋蔵文化財試掘・発掘調査事業				区分		事務事業No.	34134012	
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業		課内No.	12	
		政策体系上の位置付け						事務事業主管課		
政策体系	行政評価施策名	20	文化財の保存活用			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		所属課	文化生涯学習課	34
	施策名	4	文化財の保存・活動			事業期間		課長名	杉山文男	
	基本事業名	1	歴史資産の発掘及び保存					所属係	文化財係	
		財務会計上の位置付け						担当者名	越田真太郎	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計				
	1	10	5	4	1	文化財保護事業				
法令根拠	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、桜川市文化財保護条例					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		

[Do] 1. 事務事業の現状把握 ▶ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

開発予定地内に埋蔵文化財包蔵地があるか、その可能性が高い場合に開発行為に先立って埋蔵文化財の試掘・発掘調査(及び整理作業)を行う

(1) 事務事業の目的

①手段(21年度 実際に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
(仮称)桜川市多目的複合施設建設に先立つ発掘調査	ア 調査数	件
	イ	
	ウ	
	エ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
埋蔵文化財包蔵地(遺跡)	ア 遺跡数	件
	イ	
	ウ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
埋蔵文化財の有無・範囲等の確認 遺跡の保護 記録保存	ア 保護・記録保存できた遺跡数	件
	イ	
	ウ	
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
遺跡の保護・記録が保存される	ア 遺跡数	件
	イ	
	ウ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	23年度 (目標)
⑤活動指標	ア 件		1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
⑥対象指標	ア 件		1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
⑦成果指標	ア 件		1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
⑧上位成果指標	ア 件		1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	期間限定 総投入量
事業費	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		2,476	1,618	10,081	10,081	10,081
事業費計(A)	千円	0	2,476	1,618	10,081	10,081	10,081	0
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	2	2	2
	延べ業務時間	時間		456	192	880	880	880
	人件費計(B)	千円	0	1,353	564	2,586	2,586	2,586
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,829	2,182	12,667	12,667	12,667

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

文化庁および県文化課の指導による

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし

事務事業名	埋蔵文化財試掘・発掘調査事業	事務事業No.	34134012	所属課	文化生涯学習課
-------	----------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 文化財保存・活用につながる <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 文化財は公共の財産であるため、市が当事業を行うのは妥当である 茨城県の定める「埋蔵文化財として扱う範囲及び開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する基準」により、試掘・確認調査は市町村教育委員会が行う、とされているため <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 申請に対する試掘・発掘調査であり、対象や意図の変更は必要がない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 試掘・発掘調査は専門知識が必要な作業であり、その知識や能力の向上をはかっていく <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 法により定められた事業であり、廃止はできない また、廃止した場合、文化財の損壊等の事態把握に遅れが生じる <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業がないため <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 県文化課により定められた積算基準によって事業費を算出しており、事業費は適正である <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 県文化課により定められた積算基準によって人件費を算出しており、事業費は適正である <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項